

# 農作物技術情報 第9号の要約

平成28年11月24日発行

岩手県、岩手県農作物気象災害防止対策本部

作目	技術の要約
畑作物	<b>小麦</b> : 全体にやや圃場が湿っていた影響で播種始期はやや遅れたが、概ね平年並の時期に播種は行われた。県北部や高標高地帯など、根雪期間が長い地域では雪腐病防除の実施を検討する。また、越冬前に排水路の点検等を行うこと。
野菜	<b>寒締めほうれんそう</b> : ハウスを開閉して生育を調節し、寒締め後は葉柄の Brix 糖度8%以上であることを確認して収穫する。 <b>促成アスパラガス</b> : 萌芽開始後の温度・かん水管理を適切に行い、収量を確保する。 <b>冬春どり葉根菜類</b> : 厳寒期の生育促進と凍害防止のため、被覆資材を利用して保温する。病害対策として日中の換気等を実施し、湿度を下げる管理を行う。 <b>雪害対策</b> : 事前対策として、ビニール等被覆資材の補修やハウス内の補強を行う。積雪中は、ハウス側面の除雪を行うとともに、施設内の温度を高めて積雪の自然落下を促進する。
花き	<b>りんどう</b> : 施設の点検や補強により雪害対策を十分にとるとともに、保温資材についても点検、修繕を行い、十分な効果が得られるようにする。露地りんどうでは冬期間の凍霜害防止のため土寄せを行う。 <b>小ぎく</b> : りんどう同様に施設の雪害対策を十分に行い、小ぎくの挿し穂確保のために適切な温度管理に努める。
果樹	<b>りんご</b> : 晩生種の硬度が低い傾向にあるため、越年販売時には果肉の軟化に注意する。 <b>果樹全般</b> : ネズミ、ニホンジカなどの獣害、若樹の凍寒害・雪害対策に努める。
畜産	<b>乳用牛・肉用牛</b> : 寒さや換気不良の影響による牛の損耗を予防する。 <b>自給飼料・土壌</b> : 成分分析を実施し、適切な飼養管理・肥培管理を設計する。

詳細については「いわてアグリベンチャーネット」をご覧ください。 <http://i-agri.net/agri/> (「いわてアグリ」と検索すると上位に表示されます)

**農作物技術情報の本年度定期発行は今号で終了となります。**